

産業廃棄物処理業務一式（埋設物の掘削・処理）の結果概要（事業終了）

【熊本県宇土市】

令和7年12月26日

1 事業の概要

熊本県宇土市の国有林野では、昭和46年に2,4,5-T系除草剤(粒剤2,055kg)を北部と南部ブロックに分けて埋設し、埋設箇所の周囲に対して、昭和60年に立入禁止の措置を講じ、以後も定期点検等を実施している。

令和6年度は、令和4年度に実施した試料採取・成分分析により特定された掘削対象範囲と処理方法を踏まえ、埋設箇所の北部ブロックの掘削・収集運搬・無害化处理等を実施した。

令和7年度は、残る南部ブロックの掘削・収集運搬・無害化处理等を実施した。作業中は掘削対象物の飛散・流出等による環境汚染防止のため、作業箇所を仮設テントで覆い、ダイオキシン類に対応した集塵機を設置した。

掘削対象物は、耐久性が高い浸透防止シートで包んでドラム缶内に封入し、処理施設へ運搬、無害化处理を行った。8月に南部ブロックの掘削対象範囲を全て掘り取った後、底面から試料を採取し、成分分析により環境基準値を下回ることを確認した。その後、分析し基準を下回る購入土壌で掘削穴を埋め戻した。

以上により、熊本県宇土市における埋設除草剤の掘削・無害化处理の全ての事業が終了した。

2 作業状況、埋設状態及び分析結果

事業箇所 作業項目	熊本県宇土市（南部ブロック） （掘削・収集運搬・無害化处理）			
作業状況写真	<埋設箇所の作業前の全景> 	<仮設テントの設置> 	<集塵機の設置> 	
	<掘削作業> 	<収集・運搬> 	<底面分析> 	<埋戻し> 
埋設物の有無、状態	あり。シートで包まれた固結したコンクリート。			
掘削量	約 637.1m ³			
底面土壌の ダイオキシン類の濃度	0.071pg-TEQ [※] /g (環境基準値：1,000pg-TEQ/g)			
搬出量	ドラム缶 2,041 本			
処理量	約 437.13 トン			

※ TEQ とは毒性等量の意味で、毒性の強さを加味したダイオキシン量の単位。